

ロイヤルエンフィールドジャパン
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

2026 年 10 月 16 日

PCI-RE2026032

ロイヤルエンフィールド、魅惑のクラシック 125 周年 記念エディション HYPERSHIFT CLASSIC 650 登場



2026 年 10 月 16 日：ミッドサイズ(250cc～750cc)モーターサイクル・セグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、ブランド創業 125 周年を祝う記念モデル『125th Anniversary Edition HYPERSHIFT CLASSIC 650／125 周年記念エディション・ハイパーシフト・クラシック・ロクゴーマル』を発表します。

ロイヤルエンフィールドを展開する世界の各主要地域でそれぞれ 125 台を限定販売するこのアニバーサリーエディションは、伝統と革新が織りなす息をのむようなボディカラーを採用しました。それによって 125 年歴史を持つロイヤルエンフィールドのスローガン「Pure Motorcycling／ピュア・モーターサイクリング」の精神を凝縮した唯一無二の 1 台となりました。日本での販売台数は 35 台を予定しています。

抽選購入申込に必要な登録受付は、2026 年 10 月 16 日午後 5 時 30 分（日本時間）から 2026 年 10 月 27 日まで行われます。ご興味のあるお客様は、

<https://www.royalenfield.com/jp/ja/home/> よりご登録ください。納車は2026年11月より段階的に開始いたします。

「125周年記念エディション HYPERSHIFT CLASSIC 650」は、クラシック・シリーズの象徴である、滴のような美しい曲線を持つティアドロップ型の燃料タンクと、ヘッドライトやメーターを格納するフロント周りの装飾パーツ／ヘッドライトナセルを継承。そのボディカラーは、ロイヤルエンフィールドの豊かで歴史あるカラーパレットからインスピレーションを得ています。

ロイヤルエンフィールドがバイクづくりをスタートさせた1901年に広く使用されていた真鍮の輝きを基調に、深みのある色調とゴールドを重ね、光や見る角度によって表情を変える HYPERSHIFT 塗装を完成させました。金色の「125 Years」クレスト、専用のサイドパネルバッジ、そして手描きのピンストライプが、この記念モデルをかけがえのない一台に仕上げています。

「125周年記念エディション HYPERSHIFT CLASSIC 650」は、定評のある650 ツイン・プラットフォームで構成。時代を超えたデザインとシンプルなメカニズムによって、軽快な走りを実現しています。

限定モデル『125th Anniversary Edition HYPERSHIFT CLASSIC 650／125周年記念エディション・ハイパーシフト・クラシック・ロクゴーマル』は、下記スケジュールにて日本国内における購入希望申込受付を開始いたします。なお、当選者は抽選にて決定し、当選された方へのみご連絡いたします。落選された方へのご連絡はございませんので、予めご了承ください。

※当選され、車両をご購入いただいたお客様には、納車時に写真撮影へのご協力をお願いいたします。撮影した写真は、弊社プライバシーポリシーに基づき、ロイヤルエンフィールド公式 Web サイトや SNS 等の広報・プロモーション活動に使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

●メーカー希望小売価格：

1,149,500 円 (税込) ※2026年11月下旬のデリバリーを予定しています。

●申込受付期間（いずれも日本時間）：

開始：2026年10月16日（金）17:30

終了：2026年10月27日（火）17:00

●登録ページ：

<https://www.royalenfield.com/jp/ja/>

<ロイヤルエンフィールドについて>

1901年の創業以来、ロイヤルエンフィールドは美しいオートバイを作り続けてきた二輪車ブランドです。そのルーツは英国にあり、1955年にマドラス(現チェンナイ)に製造工場を設立。以来ロイヤルエンフィールドは、インドのミッドサイズ・モーターサイクルセグメントの成長を牽引してきました。ロイヤルエンフィールドのモーターサイクルは、美しく、シンプルで親しみやすく、ライディングする楽しさに溢れた乗り物である。それは我々ロイヤルエンフィールドが、自らを『Pure Motorcycling／ピュア・モーターサイクリング』と呼ぶ由縁です。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには、クルーザーの「METEOR 350(メテオ・サンゴーマル)」、650 パラレルツインモーターサイクルの「BULLET 650(ブリット・ロクゴーマル)」、「CLASSIC 650(クラシック・ロクゴーマル)」「SUPER METEOR 650(スーパー・メテオ・ロクゴーマル)」、「INT650(アイエヌティ・ロクゴーマル)」、「CONTINENTAL GT650(コンチネンタル・ジーティー・ロクゴーマル)」、アドベンチャー・モーターサイクルでは「HIMALAYAN 450(ヒマラヤ・ヨンゴーマル)」、アイコンックな「GOAN CLASSIC 350(ゴアンクラシック・サンゴーマル)」「BULLET 350(ブリット・サンゴーマル)」、「CLASSIC 350(クラシック・サンゴーマル)」があります。また我々は2024年に、新しいシティ&電動モーターサイクルブランド『FLYING FLEA(フライング・フリー)』を発表しました。それはモダンなデザインと先進技術を融合させた、都市型モビリティカテゴリーにおける我々の新たなチャレンジでもあります。

また我々ロイヤルエンフィールドは、世界各地でモーターサイクルイベントを企画しています。とくに、毎年11月にインド西海岸のリゾート地ゴアの美しいビーチに、世界中からロイヤルエンフィールド・ライダーが集まるイベント「Motoverse(モトバース)」や、ヒマラヤ山脈の高地を走る「Himalayan Odyssey(ヒマラヤン・オデッセイ)」が有名です。世界中の人々がロイヤルエンフィールドを走らせる世界同日開催のライディングイベント「One Ride(ワンライド)」も実施しています。

インドのトラック大手 Eicher Motors Limited(アイシャーマーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2000以上の店舗を構え、世界60カ国以上に850近い店舗を展開しています。また、ロイヤルエンフィールドは、英国のブランディングソーブとインドのチェンナイに2つのテクニカルセンターを有し、インドの都市チェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルに2つの最新鋭の生産施設を運用しているほか、バングラデシュ、ネパール、ブラジル、タイ、アルゼンチン、コロンビアの6ヶ所に近代的なCKD(コンプリート・ノック・ダウン)組立工場も有しています。

ロイヤルエンフィールドのブランドや製品に関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.royalenfield.co.jp>

全国のROYAL ENFIELD 正規販売店は下記よりご確認いただけます。

<https://www.royalenfield.co.jp/dealers/>

本件に関するお問い合わせ先：ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

<https://www.royalenfield.co.jp>